

# 肝移植のドナー候補となられる方へ

長崎大学病院  
移植・消化器外科

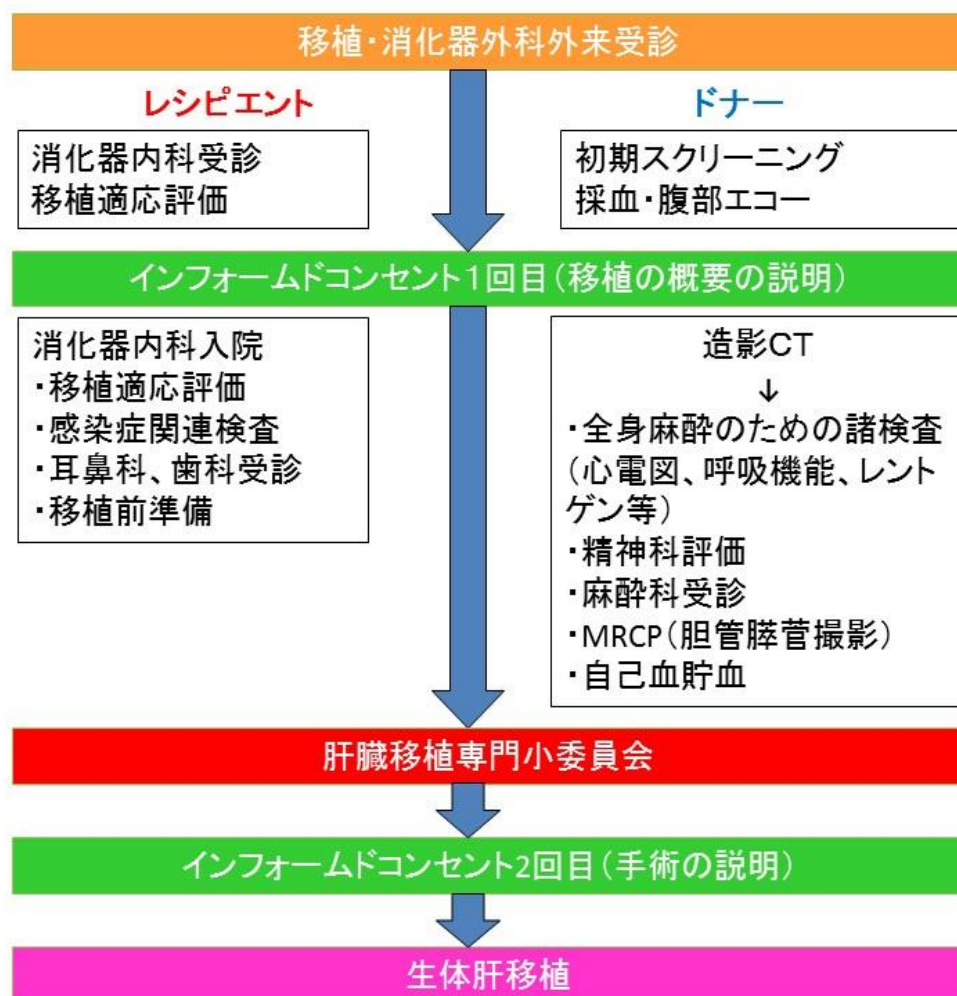
## はじめに

この度はドナー候補になられることに関して様々な不安をお持ちだと思います。移植とはドナーの貴重な意思、そしてドナーの安全の確保ができてはじめて成り立つ医療です。

今後ドナーとして適格か、様々な検査を行い慎重に検討を行っていきます。移植手術までには下記のようにインフォームド Consent（説明）を行いながら、段階を踏んで進んでいきます（ドナーに必要な検査に関しては次ページで詳細に説明いたします）。

途中でドナーの意思がなくなった場合はいつでもご相談下さい。そのことであなたに不利益が生じることは一切ありません。

### 手術までの流れ



## 手術までに必要な検査

ドナーの方は通常移植手術の 2 日前に入院しますが、それまでに外来にて下記の検査を行っていきます。入院までには初回の外来を含めて平日に 3～4 回ほど病院にお越しいただきます。

また、検査によっては絶食が必要なものがあります。検査の前日までにはコーディネーターから連絡いたしますので指示を守られご来院下さい（絶食が守られないと検査ができない場合もありますのでご注意願います）。

### ◆ 初回検査

移植・消化器外科（火曜・木曜午前）の外来を受診していただきます。受診の際は窓口手続き等、コーディネーターがお手伝いをいたします。

外来担当医師による診察前（後）に下記の検査を行います。

#### ・採血

肝臓の機能に異常がないか、感染症がないか調べます。

#### ・腹部エコー

肝臓に脂肪がついていないか、また肝臓に腫瘍がないかなどを調べます。



当日中には結果のでない検査項目（感染症関連）もあるため、最終結果は後日連絡いたします。初回検査にて問題がないと判断されますと、ドナーの検査の結果やレシピエント（提供を受ける側）の状況、移植の概要等について移植・消化器外科医師より「生体肝移植に関する 1 回目の説明（インフォームドコンセント 1 回目）」を行います。説明の際にはドナー、レシピエント両者がそろわれることが必要です。その他ご家族でご都合がつく方がおられましたら是非同席されて下さい。実施日程については相談させていただきます。

### ◆ 二段階目の検査

#### ・腹部 CT

「生体肝移植に関する 1 回目の説明」後に実施します。肝臓の血管の走行や大きさ、肝臓に病気が無いかを調べる重要な検査です。造影剤というお薬を使用しますので、副作用が出る恐れがあります。副作用については医師より説明を行い、同意書をいただいた上で施行します。初回検査で問題ないと判断された場合でも CT の結果によっては肝臓が提供できないこともあります。

### ◆ 三段階目の検査

初回、二段階目の検査で問題がないと判断された方は更に詳しい検査を行います。

- ・胸腹部レントゲン

胸やお腹に異常がないか調べます。

- ・心電図

心臓の機能に異常がないか調べます。

- ・呼吸機能

全身麻酔をかけるにあたり十分な肺の機能（肺活量など）があるかを調べます。

- ・麻酔科受診

全身麻酔下での手術を行うにあたり、術前に麻酔科医の診察を受けていただきます。全身麻酔についての詳しい説明も行われます。

- ・MR胆管膵管撮影

胆管の走行を調べます。

- ・自己血貯血

手術前後に輸血（日本赤十字社由来）をしないで済むように、あらかじめ自分の血液を 300-400cc 貯めて手術に備えます（手術日までの **5 日前**までに実施します）。貧血がある方は実施できないこともあります。

- ・精神科受診

精神科医との面談にてドナーの自発的な意思の確認や移植に関する判断能力に問題がないか評価を行います（入院後の受診となることが多いです）。

☆50 歳以上の方は胃カメラや大腸カメラも追加で実施します。

上記の検査結果によっては追加の検査や外来受診が必要となることもありますので、その際はお知らせします。また全ての検査を終了した後に総合的に判断してドナーとしては不適格となる場合もありますが、これはドナーの安全を確保するためです。何卒ご了承ください。**また、検査が全て終了した後でもドナーになることを辞退することは可能です。**いつでもご相談ください。

入院は手術予定日の 2～3 日前になります。正確な入院日はコーディネーターより連絡いたします。入院が決まりましたら入院に関するオリエンテーションを受けて頂きます。その際に手術に必要な物品等の説明があります。



## 術前の生活上の注意事項

ドナー候補となられた場合は、自身の手術の安全確保や合併症の予防のためにも下記のことにご注意されて下さい。

### ◆ 禁酒

飲酒は肝臓にダメージを与えてしまうため、ドナー候補になることを決められたら**禁酒をお願いします**。術後も肝再生のためにも 3 か月程度禁酒されることが望ましいです。ノンアルコールの飲料は構いません。

### ◆ 禁煙

術後は麻酔の影響で痰が増加しますが、もともと喫煙されている方は更に痰の量が増加します。術後は創部の痛みなどで十分な咳ができず痰を外に出すことが難しくなります。肺の中にたまった痰や分泌物により肺が十分に膨らみきれない無気肺という状態になったり、肺炎の原因ともなり呼吸器関連の合併症を起こす可能性が高くなります。**ご自身の安全のためにも必ず禁煙してください。**

### ◆ 食事

これまでの食事で問題ありませんが、暴飲暴食を避け、バランスの良い食事を心がけてください。新たに市販の漢方薬やサプリメントなどを内服することは避けて下さい（内容によっては肝臓にダメージを与えてしまうものもありますのでご相談下さい）。

### ◆ 運動

術直前には激しいスポーツなどは避けてもらった方が良いですが、軽い運動（ウォーキングなど）は続けて頂いて構いません。

### ◆ その他

風邪などひかれぬように、体調管理につとめて下さい。十分な休息も重要です。ドナーになるということは大きなストレスを伴います。不安を感じるのは正常な反応です。疑問や心配ごとなどあればいつでも移植コーディネーターにご相談下さい。



長崎大学病院 看護部管理室 2

レシピエント移植コーディネーター（看護師） 辻 あゆみ

TEL/FAX 095-819-7767（月～金 8：30～17：15）

E-mail ayumi-t@nagasaki-u.ac.jp